

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 広島市信用組合（証券コード：－）

### 【据置】

長期発行体格付 **A**  
格付の見通し **ポジティブ**

### ■格付事由

- (1) 広島市に本店を置く資金量約 8,000 億円の地域信用組合。経営トップの強力なリーダーシップのもと、経営資源を預貸業務へ集中させスピーディーに融資可否の判断を行えることが強みとなっている。こういった当信組のビジネスモデルに対する評価や、収益力の高さなどが格付を支えている。格付の制約要因となっているコア資本比率が改善していくとみて格付の見通しを「ポジティブ」としてきた。足元ではリスクアセットの増加額が大きくコア資本比率が低下しているが、堅調な業績を背景に中期的には改善していくとの JCR の見方に変化は無い。格付の見通し「ポジティブ」を継続し、リスクアセットの増加ペース、与信費用の動向を見極め格付に反映していく。
- (2) コア業務純益は長期にわたって増益が続いており、100 億円超の規模となっている。ROA（コア業務純益ベース）は 1% 超であり、与信費用を控除したベースでも高い水準にある。増益を牽引しているのは貸出金利息の増加である。新店開設や店舗リニューアルを契機とした営業活動の強化、コロナ関連融資への積極的な取り組みなどで、貸出金残高は持続的に増加してきた。コロナ関連融資が一巡した後は、地元優良企業の資金需要の取り込みを積極化させており、貸出金残高は速いペースで増加している。貸出金利回りは低下しているが、ミドルリスク先に対する積極的な取り組みやスピーディーな融資可否の回答などを背景に、他の地域金融機関と比べ高い水準を確保できている。業容が大きく拡大するなかでも、経費の増加は抑制されており、当面も高い収益性が維持されると JCR はみている。
- (3) 貸出資産の質は維持されている。金融再生法開示債権比率は 1% 台後半（部分直接償却は未実施）と低い。不良債権のオフバランス化を積極的に行ってきたことなどによるもの。また、与信先の小口分散は徹底されている。自己査定 of 厳格化などを通じ引当の保守化を進めてきており、22/3 期にも破綻懸念先への貸倒引当金を積み増した。ミドルリスク先を主要な貸出先としており、コロナ禍が長期化した際の与信費用への影響を注視していく必要はある。ただし、保守的な引当がなされていることなどを勘案すれば、与信費用は当面もコア業務純益で十分に吸収可能な範囲内に収まると JCR はみている。有価証券の残高は従前に比べると増加しているものの、今後は残高を増やさない方針。預証率は引き続き低水準にあり、保有株式や債券にかかるリスク量は、資本対比でみて抑制されている。
- (4) 貸倒引当金などを調整後のコア資本比率は 21 年 9 月末で 9% 台半ばと「A+」の地域金融機関と比べると改善の余地が残る。足元でコア資本比率が低下しているのは、プロパー貸出の残高増に加え、事業債など有価証券の残高が増加したことが影響しリスクアセットの増加ペースが速まったためだが、今後増加ペースは緩和していくと JCR はみている。

（担当）阪口 健吾・大石 剛

### ■格付対象

発行体：広島市信用組合

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	ポジティブ

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2022年5月20日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三  
主任格付アナリスト：阪口 健吾
3. 評価の前提・等級基準：
 

評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
 

本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「銀行等」(2021年10月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：
 

(発行体・債務者等) 広島市信用組合
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
 

本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。

本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。

本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
 

JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル